

商店街の活性化について(商店街振興および商店街におけるICT化の促進について)

区 民 委 員 会 資 料
令 和 4 年 8 月 2 2 日
地 域 振 興 部 商 業 ・ も の づ くり 課

1. エリアサポーター事業について

【現状】

商店街組織の高齢化・弱体化に伴い、商店街活動の担い手不足が慢性化し、日常的な管理業務やイベントの継続ができないなど、組織としての活動が難しくなっている。

【概要】

商店街が抱える課題やニーズを解決・実現するため、区内商店街へ定期巡回・ヒアリング等を行い、課題解決のためのアドバイスや調整、助成金の申請サポート等を行っている。現在、6名のサポーターが5地区に分かれて活動している。

【これまでの活動】

- ・商店街連絡網の構築、関係帳票の整備
- ・街路灯撤去に伴う助成金申請の補助および総会開催のための基盤支援
- ・解散予定の商店街への伴走支援（支援の結果、解散せず存続）
- ・イベント未実施商店街での若手会員によるイベント実施支援（後継者発掘）

2. 商店街のICT化の促進について

【前提】

商店街が抱える課題解決や来街者の利便性向上等のための手段としてのICT化の促進は非常に重要な一方で、ICT化の促進のための課題として、

- ①デジタル技術への心理的な抵抗やITリテラシーの問題
- ②商店街の実情に応じた支援 等がある

【主な支援策・これまでの取り組み】

(1) 商店街への助成金

- ◇商店街活性化推進事業（上限1億円、助成率2/3）
魅力ある商店街づくりに向けて、商店街が行う活性化事業に対し助成
 - ポイント、クレジットシステムを刷新し、キャッシュレス決済端末および地域通貨を導入（令和元年度 武蔵小山商店街振興組合）
- ◇キャッシュレス対応事業（上限8,333万円、助成率5/6、令和3年度～）
商店街のキャッシュレス環境整備に係る費用を助成
- ◇多言語対応事業（上限833万円、助成率5/6）
商店街が外国人受入のための環境を整備する取り組みに対し助成
 - アーケード内全域に親機4台、子機32台を設置し、Wi-Fiを整備（令和2年度 武蔵小山商店街振興組合）
- ◇商店街デジタル化推進事業（上限1,000万円、助成率9/10）※都単独補助
デジタル化に取り組む商店街に対し、導入～導入後までを一貫して支援
 - 会員情報のクラウド化、AIカメラでの来街者数の自動収集など、DXによる商店街広報の効率化、PDCAの実現（令和4年度 戸越銀座商店街連合会）

(2) 商店街を含めたICT関係事業

◇五反田バレー・商店街連携事業（令和2～3年度実施）

五反田バレー企業と連携し、コロナ禍における商店街のICT化の促進に向けた各種支援の実施

- コロナ禍における商店街店舗のITサービス活用支援等のための記事や動画を定期的に配信（YouTube等を活用）



- 商店街事務局の事務軽減のためのITツールの紹介・試験導入
- ネットショップ（ECサイト）作成セミナー開催

- 五反田バレー企業等が商店街へ事業提案を行うイベントの開催および事業提案の実施に向けた支援の実施（下記2事例）
ア. 品川区商店街連合会×株式会社エム・フィールド
「デジタルスタンプラリー実施およびデータ活用による新たな商店街活性化施策の検討」



- イ. 武蔵小山商店街振興組合×株式会社Synamon（シナモン）
「VRを活用したITツール導入による商店街の魅力向上および集客力のアップ」



◇AI・IoTイノベーション創出支援事業（令和元～2年度実施）

区内IT企業による商店街振興につながる新たな製品・サービス開発を支援（助成金交付、実証実験支援等）

- 戸越銀座商店街における会員向け回覧板アプリ開発やデジタルサイネージを活用した来街者分析および商店街情報の発信 等

◇イノベーションフォーラム開催（令和3年度実施）

商店街の主要業種である小売・飲食業界のDX推進に向けたシンポジウムを開催（各種事例紹介等）

(3) その他

◇キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施）

区内中小店舗でキャッシュレス決済事業者「PayPay」を利用した際に30%分のポイント還元を実施



◇ビジネスカタリスト、DXコーディネーター派遣（令和4年度実施）

商店街の個店向けに専門家を派遣（伴走型支援）